



# 河北中だより

令和8年3月30日号  
校長 原田 正明

## 1年間ありがとうございました

学校教育目標「つながりの中で自立する生徒の育成」を掲げ、この目標を達成すべく、日々の教育活動を行ってきました。特に今年度はクマの出没など安心安全が脅かされる状況もありましたが、保護者や地域の方々のご協力のおかげで、令和7年度の教育課程を無事に修了することができました。また、部活動の地域展開への対応については、町教育委員会の指導の下、新年度からの移行に向けての体制整備が進みました。

この1年間、保護者や地域の方々に支えられて教育活動を行うことができました。心から感謝申し上げます。これからも河北町の次世代を担う子どもたちの成長を一緒に支えていただければと思います。

## 第47回卒業証書授与式



3月14日に河北町長 森谷俊雄 様をはじめたくさんのご来賓、保護者の皆様をお迎えして第47回卒業証書授与式を挙行了しました。114名の卒業生にとって中学校3年間及び義務教育9年間の集大成となる卒業式は、卒業生、在校生ともにしっかりとした姿勢で臨み、卒業証書授与では一人ひとりが卒業証書を受け取り、成長した姿をたくさんの人に見ていただくことができました。

後半の生徒会主催の「卒業生を送る会」では、最後の全校生合唱となる「いのちの歌」から始まり、在校生代表の送る言葉、在校生合唱「時を越えて」と続きました。そして、最後は卒業生代表の旅立ちの言葉、卒業生による「遙か」の合唱の時には、会場にすすり泣く音が聞こえるなど、本当に素敵で感動的な会になりました。

ぜひ、114名の卒業生の皆さんが、河北中で学んだことを基礎にして、新たなステージでも活躍することを期待しています。ご卒業おめでとうございます。



## 谷地高生の探究に学ぶ《2年》

2月26日に、谷地高校の1・2年の代表生徒が来校し、総合的な探究の時間（小中学校では総合的な学習の時間）で学習してきた成果を本校2年生に対して発表をしてくれました。来年度の総合的な学習の時間に取り組む「河北構想」に向けて、探究活動をどのように進めていくのかを、具体的な実践から学ぶためです。テーマ設定のポイント、目的にあった調査と仮説の立て方、掘り下げ方、調べたことをどのように表現するか、表現の視点など探究を進めるうえで、大切なポイントを学ぶことができました。次年度の取り組みへの大きなヒントを得た時間になりました。谷地高生の皆さん、貴重な発表をありがとうございました。



## 職業講話《1年》

2月20日と3月5日に、職業講話を実施しました。20日は、トリマー、自動車整備士、美容師、旅行業者、公務員の5名の講師からお話をいただきました。働く方々の生の声と、普段知ることができない貴重なお話を伺うことができました。また、5日は西村山建設業協会の方から、建設業について詳しくお話いただきました。お忙しい中、お話いただいた皆様ありがとうございました。

なお、1年生では2年生になって5月に3日間の職業体験学習を計画しています。また、建設業協会の協力でキャリア研修も予定していますので、ぜひ、今回の学びを自分の将来を考えるきっかけとしてほしいと思います。



## 雅楽教室《3年》

3月10日に、榮樹雅楽会（谷地八幡宮雅楽会）の方々をお迎えして、3年生の雅楽教室が行われました。この雅楽は谷地どんが祭りで林家舞楽とともに披露されておりますが、実際に目の前で聴く機会はあまりありませんので、貴重な機会となりました。これからも河北町にある伝統芸能・文化に触れ、ふるさとの良さを感じてほしいと思います。演奏いただきありがとうございました。

今年度、『河北中だより』に学校行事等だけでなく、地域とのつながりの中で行われた活動も多く取り上げさせていただきました。これまで以上に河北中生の多様な姿を多くの地域の方々に知っていただくことができたのではないかと思います。ただ、年度途中から配布方法が全戸配布から回覧板方式に変わり、ゆっくり読むことができなくなってしまったかと思います。学校だよりは本校ホームページからもご覧いただくことができますので、ぜひ、右の2次元コードを読み取りください。また、ホームページには学校での活動の様子も紹介しておりますので、そちらもご覧ください。

